

公益財団法人SGH財団  
第21回市民公開講座

# がん免疫療法の進歩 科学的根拠と最新情報

がん医療の中で、近年関心度が高まっている  
「免疫チェックポイント阻害薬」をテーマに、  
科学的根拠に基づき、がん免疫療法の具体的内容や  
最新情報を分かりやすく解説いたします。

日時

令和5年 **2月23日** (木・祝)

13:00開演(15:45閉演予定)

主催:公益財団法人SGH財団 後援:公益財団法人日本対がん協会  
協力:SGホールディングスグループ

# スケジュール

13:00 開演

## 主催者挨拶

公益財団法人 SGH 財団理事長  
SG ホールディングス株式会社代表取締役会長兼社長  
佐川急便株式会社社長

栗和田 榮一

## 第1部 講演

がん免疫療法開発の歴史と現況、そして未来を展望する

岡山大学学術研究院医歯薬学域  
腫瘍微小環境学教授

富樫 庸介

免疫チェックポイント阻害薬が有効ながん種は？その副作用は？

近畿大学医学部内科学腫瘍内科  
特命准教授

林 秀敏

がんゲノム医療における免疫チェックポイント阻害薬の出番は？

京都大学大学院医学研究科  
腫瘍薬物治療学講座准教授

金井 雅史

休憩

## 第2部 パネルディスカッション

### モデレーター

京都大学名誉教授  
日本赤十字社和歌山医療センター名誉院長  
宇治徳洲会病院院長補佐

平岡 眞寛

京都大学名誉教授  
国立病院機構京都医療センター名誉院長

小西 郁生

### パネリスト

富樫 庸介 | 林 秀敏 | 金井 雅史

15:45 閉演

コーディネーター

平岡 眞寛

小西 郁生

司会

植月 百枝

## 講演

# 「がん免疫療法開発の歴史と現況、そして未来を展望する」



岡山大学学術研究院医歯薬学域  
腫瘍微小環境学教授

## 富樫 庸介

多くの方が苦しむ「がん」ですが、実は私たちの身体には日々数千個(!?)のがん細胞が生まれていると言われています。しかし、そう簡単に「がん」にならないですよね？なぜでしょう？それは私たちが本来持つ「免疫」のおかげで、がん細胞が「敵」として排除されているからであ

ろうと言われています。ここでは、その健康な状態から「がん」になってしまう理由、そして2018年にノーベル賞を受賞した抗PD-I抗体という薬剤に代表される「がん免疫療法」がどのように効果を発揮しているのかを詳しく紹介したいと思います。

### 学歴

平成 18 年 京都大学医学部医学科卒

平成 27 年 近畿大学大学院医学研究科修了（日本学術振興会特別研究員）

### 職歴

平成 18 年 住友病院 研修医

平成 21 年 京都大学病院 呼吸器内科医員

平成 23 年 京都大学大学院医学研究科 助教

平成 27 年 近畿大学医学部 助教

平成 28 年 国立がん研究センター 研究員（日本学術振興会特別研究員）

令和 元年 千葉県がんセンター研究所 部長

令和 3 年 岡山大学学術研究院医歯薬学域 教授

### 専門医等

日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本癌学会評議員など

## 講演

# 「免疫チェックポイント阻害薬が有効ながん種は？その副作用は？」



近畿大学医学部内科学腫瘍内科  
特命准教授

## 林 秀敏

免疫チェックポイント阻害薬が日本で保険適用となり8年以上が経過しました。その間に多くの治験等が行われた結果、免疫チェックポイント阻害薬は様々ながん種の患者さんに用いられるようになり、結果としてがん薬物療法は大きな変化を遂げました。最近では有効な治療手段がなかった原発不明がんにおいてもニボルマブが使用可能ですし、肺がん等では手術後の再発予防のためにも使用できるようになっています。ただし、免疫チェックポイント阻害薬は全能で全く副作

用が出ない薬剤、というわけではありません。効果を示す患者さんの割合は限りがある一方で、免疫反応により自分の内臓を攻撃してしまう様々な免疫関連の副作用があります。こうした副作用は頻度こそ多くありませんが、対応に熟練を要するため専門家による治療が必要であると同時に、患者さんやご家族も含め皆様もある程度知識を得る必要があります。

この講演では免疫チェックポイント阻害薬の種類や使用手段の広がり、さらには副作用についても紹介致します。

### 学歴

平成 15 年 大阪大学医学部医学科卒業

### 職歴

平成 15 年 財団法人住友病院総合診療科初期研修医

平成 18 年 公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院シニアレジデント

平成 21 年 近畿大学医学部内科学腫瘍内科助教、同ゲノム生物学教室にて研究

平成 24 年 市立岸和田市民病院腫瘍内科部長

平成 27 年 近畿大学医学部内科学腫瘍内科助教

令和 4 年 より現職

### 専門医等

日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医、指導医 がん治療認定医

日本呼吸器学会専門医 日本内科学会総合内科専門医

日本臨床腫瘍学会学術集会部会呼吸器部会副部長

日本臨床腫瘍学会専門医審査部会副部長

世界肺癌学会 membership committee、西日本がん研究機構理事

臨床腫瘍学会奨励賞（平成 27 年）、日本肺癌学会篠井・河合賞（令和 4 年）受賞

## 講演

# 「がんゲノム医療における免疫チェックポイント阻害薬の出番は？」



京都大学大学院医学研究科  
腫瘍薬物治療学講座准教授

## 金井 雅史

免疫チェックポイント阻害薬の保険適用がん種は年々拡大しています。免疫チェックポイント阻害薬の効果は個人差も大きいので、その治療効果を予測可能とするようなバイオマーカー研究も活発に行われています。一方、2019年よりがんゲノム医療が実地臨床に導入されましたが、がん遺伝子パネル検査の結果、

保険適用がないがん種でも免疫チェックポイント阻害薬が使えることがあります。ここではがんゲノム医療における免疫チェックポイント阻害薬の出番について、現時点での最新情報に基づいて紹介したいと思います。

### 学歴

平成 6 年 京都大学医学部 卒業  
平成 9 年 京都大学大学院医学研究科 博士課程  
平成 16 年 MD アンダーソン癌センター ポストドクトラルフェロー  
日本学術振興会 海外特別研究員

### 職歴

平成 6 年 京都大学医学部附属病院 内科研修医  
平成 7 年 関西電力病院 内科勤務  
平成 13 年 京都桂病院 消化器センター勤務（副医長）  
平成 18 年 京都大学附属病院探索医療センター 助手  
平成 23 年 京都大学大学院医学研究科 臨床腫瘍薬理学講座 特定講師  
平成 27 年 京都大学大学院医学研究科 臨床腫瘍薬理学・緩和医療学講座 特定准教授  
令和 2 年 京都大学大学院医学研究科 腫瘍薬物治療学講座 准教授 現在に至る

### 専門医等

がん薬物療法専門医、がん薬物療法指導医、がん治療認定医機構認定医、  
日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会専門医、臨床修練指導医、  
日本臨床薬理学会指導医、日本消化器内視鏡学会専門医

## コーディネーター



京都大学名誉教授  
日本赤十字社和歌山医療センター名誉院長  
宇治徳洲会病院院長補佐

### 平岡 眞寛

がん免疫療法は、手術、放射線治療、薬物治療に次ぐがん治療の柱として長年期待されていましたが、大きな役割を担うに至りませんでした。2018年ノーベル医学生理学賞を受賞した本庶 佑京都大学特別教授による免疫チェックポイント阻害剤の発見はその様相を一変させました。単独あるいは従来治療法との併用により、

数多くのがん種において注目すべき効果が示され日常診療に広く用いられるようになりました。新たなエビデンスも急速に輩出されています。本市民公開講座においては、がん医療を大きく変えつつあるがん免疫療法の現時点での到達点を最前線で活躍中の3名の演者により紹介して頂きます。

#### 学歴

昭和 52 年 京都大学医学部卒業  
昭和 59 年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

#### 職歴

昭和 59 年 京都大学医学部附属病院放射線科助手  
昭和 62 年 米国スタンフォード大学放射線腫瘍科客員助教授  
平成 元年 京都大学医学部講師  
平成 4 年 京都大学医学部助教授  
平成 7 年 京都大学大学院医学研究科（放射線腫瘍学・画像応用治療学）教授  
平成 19 年 京都大学医学部附属病院がんセンター長  
平成 24 年 京都大学産官学連携本部副本部長  
平成 28 年 日本赤十字社和歌山医療センター院長  
令和 4 年 同 名誉院長、宇治徳洲会病院院長補佐

## コーディネーター



京都大学名誉教授  
国立病院機構京都医療センター名誉院長

### 小西 郁生

がんは国民の二人に一人が必ず罹る疾患ですが、予防と早期発見、そして治療法の素晴らしい進歩により、三人に二人は治癒する時代となりました。また完全に治らなくても、様々の緩和治療と手厚いケアにより良好なQOLを保ちながら「がんとともに生きる」ことが可能です。さらに、

21世紀に入ってから、がん治療全体を大きく進歩させる画期的な発見があり、それが免疫チェックポイント阻害薬を中心とする「がん免疫療法」に結びつきました。そこで、今回の市民公開講座では、その最新情報を皆さまとともに学びたいと思います。

#### 学歴

昭和 51 年 京都大学医学部卒業  
昭和 63 年 京都大学大学院医学研究科博士課程修了

#### 職歴

昭和 61 年 京都大学医学部附属病院産科婦人科助手  
平成 4 年 米国アーカンソー医科大学研究員  
平成 5 年 京都大学医学部婦人科学産科学講師  
平成 11 年 信州大学医学部産科婦人科学教授  
平成 15 年 同 附属病院副病院長  
平成 19 年 京都大学医学研究科婦人科学産科学教授  
平成 20 年 同 医学部附属病院副病院長  
平成 28 年 国立病院機構京都医療センター院長  
令和 2 年 同 名誉院長・特別研究員

#### 司会

フリーアナウンサー

植月 百枝

# これまでの市民公開講座

## 第20回「がんを予防するための最新情報を学ぶ」

開催日:令和4年2月27日(日) オンライン開催

## 第19回「ウィズコロナ時代の新たながん医療とは」

開催日:令和3年2月23日(火・祝) オンライン開催

## 第18回「がんゲノム医療について ～精密医療の到来?～」

開催日:令和2年2月24日(月・振休) 会場:ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

## 第17回「がんとともに生きる ～患者に寄り添う医療とは?～」

開催日:平成31年2月24日(日) 会場:ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

## 第16回「こんなに進んだ!肺がん治療の最前線」

開催日:平成30年2月18日(日) 会場:ハービスOSAKAハービスHALL(大阪市)

## 第15回「こんなに進んだ大腸がん診療!」

開催日:平成29年2月26日(日) 会場:ナレッジキャピタル コングレコンベンションセンター(大阪市)

## 第14回「泌尿器科がん:診断・治療の最前線」

開催日:平成28年2月21日(日) 会場:新大阪イベントホール レルミエール(大阪市)

## 第13回「こんなに進んだ乳がん治療!」

開催日:平成27年3月15日(日) 会場:大阪国際会議場(大阪市)

## 第12回「輝いて生きる」

開催日:平成26年2月16日(日) 会場:よみうりホール(東京都千代田区)

## 第11回「がんと人生」

開催日:平成25年3月24日(日) 会場:有楽町朝日ホール(東京都千代田区)

## 第10回「子宮がんの予防と治療」

開催日:平成24年3月20日(火・祝) 会場:国立京都国際会館(京都市)

## 第9回「乳がんの治療と診断」

開催日:平成23年3月27日(日) 会場:京都大学 時計台ホール(京都市)

## 第8回「集中的がん治療 ～治療成績向上を目指したチーム医療～」

開催日:平成22年3月28日(日) 会場:京都大学 時計台ホール(京都市) 共催:文部科学省がんプロフェッショナル養成プラン

## 第7回「がん治療最前線 ～大きく変わるがん治療(薬物、放射線、外科治療)～」

開催日:平成21年3月22日(日) 会場:東海テレビ テレビピアホール(名古屋市) 共催:NPO法人日本臨床腫瘍学会

## 第6回「府民とともに考える京都のがん医療」

開催日:平成20年2月2日(土) 会場:京都産業会館 シルクホール(京都市) 共催:京都新聞社

## 第5回「大腸がんの最前線」

開催日:平成19年3月17日(土) 会場:京都市北文化会館(京都市)

## 第4回「肺がんの最新情報」

開催日:平成18年3月25日(土) 会場:京都産業会館 シルクホール(京都市)

## 第3回「がんの予防と胃癌治療の最前線」

開催日:平成17年2月26日(土) 会場:京都会館第二ホール(京都市)

## 第2回「前立腺がんの最新情報」

開催日:平成16年3月20日(土・祝) 会場:国立京都国際会館(京都市)

## 第1回「乳がんの最新情報」

開催日:平成15年2月1日(土) 会場:京都市北文化会館(京都市) 共催:京都新聞社



# がんを打ち勝つ、 未来のために。

公益財団法人SGH財団は、  
がんに関する研究、並びにがん看護に  
関する研究・実践開発に対して、  
助成・褒賞を行っています。

## がん研究 振興事業

### ■ SGH特別賞

がんの基礎・臨床研究に顕著な功績を挙げ、  
かつ今後の発展が期待される方を対象に、  
表彰を行っています。

### ■ SGH看護特別賞

がん看護に関する先駆的な研究並びに実践を  
行うことにより、わが国の医療の発展・向上に寄与し、  
その業績が顕著で、かつ今後の発展が期待される  
個人または団体を対象に表彰を行っています。

### ■ SGHがん研究助成

がんの基礎及び臨床における優れた研究を対象として、  
若手研究者の育成を目的に、  
平成元年度から助成を行っています。

### ■ SGHがん看護研究助成

がん看護に関する優れた研究並びに臨床における  
新しい取り組みを対象として、  
看護実践の発展に寄与することを目的に、  
令和元年度から助成を行っています。

SGH特別賞、SGH看護特別賞及び各研究助成への推薦・応募につきましては当財団のホームページをご確認ください。

## 留学生 奨学事業

日本の大学に在学する東南アジアからの  
私費外国人留学生に  
奨学金支援を行っています。

### ■ 奨学金支援(給付型奨学金)

### ■ 奨学生交流支援

・卒業奨学生同窓会 ・奨学生交流会

## 国際経済 協力事業

物流に関する高度教育機関への  
専門家派遣や研修生を受け入れ、  
人材育成を行っています。

### ■ 物流人材育成支援

・研修生受け入れ ・物流集中講義の実施

**公益財団法人SGH財団**

〒600-8009京都市下京区函谷鉾町79ヤサカ四条烏丸ビル9階 TEL:075-255-9310 FAX:075-255-9311

<https://www.sgh-foundation.or.jp>